

# 被災地のアルコール関連問題・ 嗜癖行動に関する研究

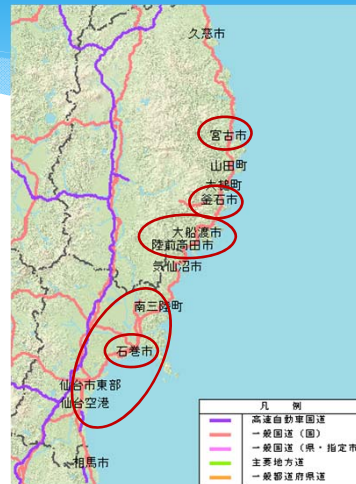
独立行政法人国立病院機構  
久里浜医療センター  
松下 幸生



# 被災地支援者 アンケート調査

## 岩手・宮城県の支援活動

医療機関	担当地域
NHO琉球病院	岩手県宮古市
NHO肥前精神医療センター	岩手県釜石市
NHO久里浜医療センター	大船渡市、陸前高田市 住田町
三重県立こころの医療センター	宮城県石巻市
東北会病院	宮城県沿岸部



事例検討、大量飲酒者へ介入するためのツール作成、介入方法などの研修会（支援者対象）開催とその効果検証などにより支援活動を行ってきた

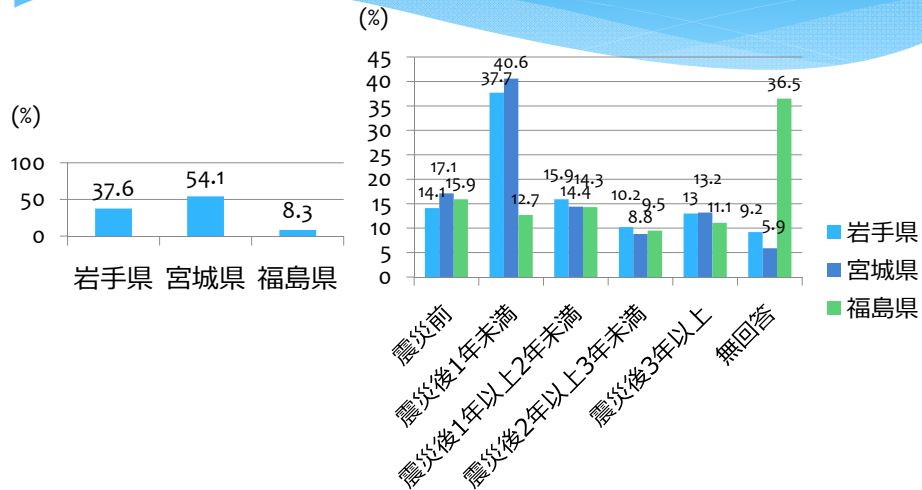
一般財団法人日本デジタル道路地図協会HP

## 支援者アンケート調査

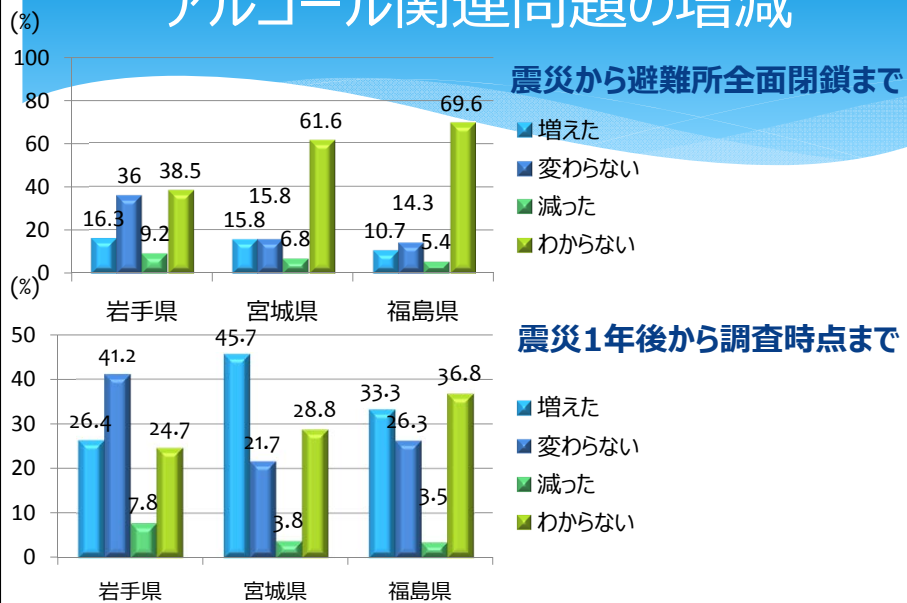
- \* 被災地の支援者を対象としたアンケート
- \* アンケートは平成27年3月から11月にかけて依頼し、12月までにすべて回収
- \* 期間を1) 震災から避難所閉鎖、2) 避難所閉鎖～震災1年後、3) 震災1年後～調査までの3つに分類して以下を質問
  - 1) アルコール関連問題の増減
  - 2) アルコール関連問題の内容
  - 3) アルコール関連問題の対応で困ったこと
  - 4) アルコール以外の精神科疾患
  - 5) 避難所での飲酒に関する意見

756名（男性182名、女性574名）より回答  
職種は保健師、生活支援相談員、ケアマネ、看護師、精神保健福祉士など

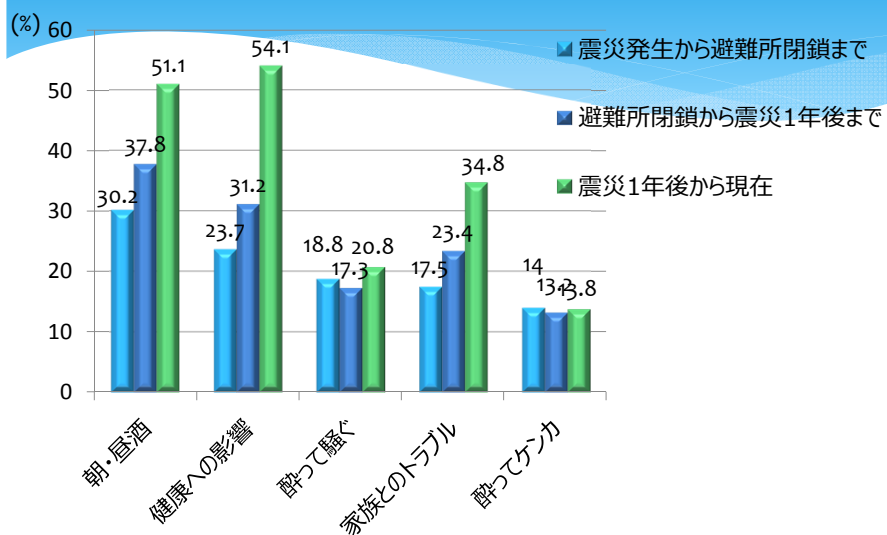
## 回答者の活動地域と勤務開始時期



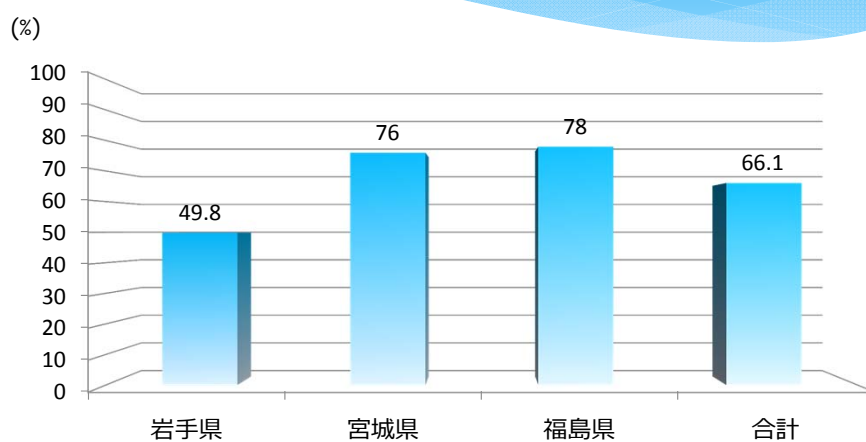
## アルコール関連問題の増減



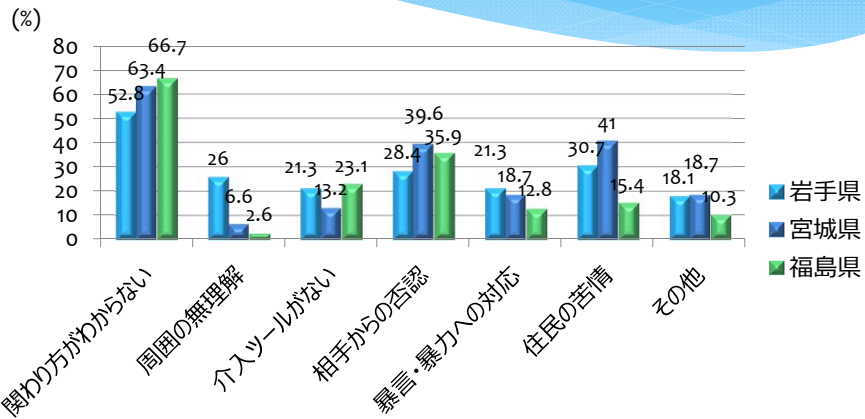
## アルコールに関連した問題の内容



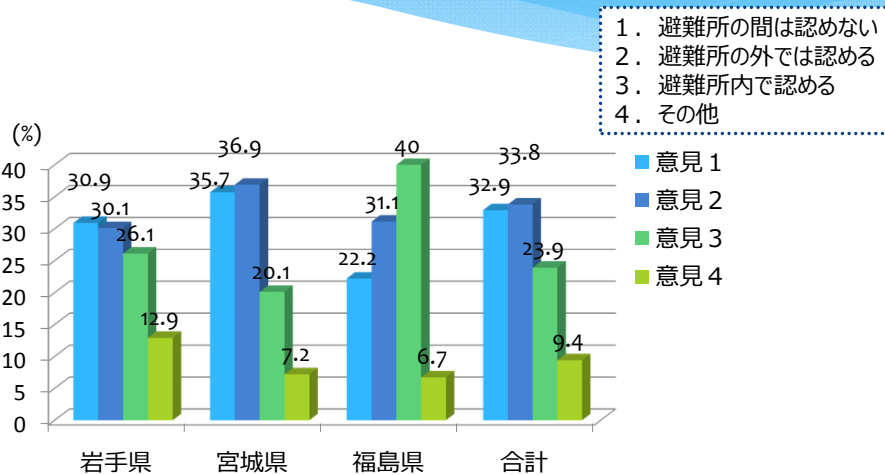
## アルコール問題への対応で困った経験がある支援者の割合



## アルコール問題への対応で困ったこと



## 避難所での飲酒に関する意見



## まとめ

- \* 被災地で支援活動を行っている支援者を対象としたアンケート調査を実施した
- \* アルコール関連問題の増減は時期によって異なり、震災発生から避難所閉鎖までの期間は変わらないとする回答が多かったが、避難所閉鎖以降の期間では増えたとする意見が多くなった
- \* 県別にアルコール関連問題の増減をみると、岩手県では変わらないとする意見が多い一方、宮城県、福島県では増えたとする意見が多かった
- \* アルコール関連問題の内容は、朝や昼間からの飲酒、飲酒による健康への影響、家族とのトラブルといった問題を挙げた者が多かった
- \* 避難所での飲酒についての意見として、避難所内では飲酒すべきではないとする意見が過半数であった